

重要文化財大石平遺跡出土品保存修理事業

大石平遺跡は六ヶ所村尾駮沼の北側の段丘上にある縄文時代後期前葉（約4200～3900年頃）の集落遺跡です。住居跡49軒、土坑776基、配石遺構18基等が確認されています。土器をはじめ、土製品733点、石製品254点が出土しています。このうち漆塗切断壺形土器や手形・足形付土製品4点を含む198点が平成7年に重要文化財に指定されました。

これまで、漆塗切断壺形土器や土製品・石製品・石器は展示をしてきましたが、土器は経年劣化により接合面が脆くなっているため、資料保護の観点から公開を控えてきました。これらを展示に活用するには、劣化を止め形を復元し資料自体を強化する保存修理が必要になります。今年度から、出土品のうち脆弱になった土器18点の保存修理を国庫補助事業（国宝重要文化財等保存・活用事業）を活用して行うことになりました。

令和2年度は深鉢形土器3点の修理を実施したので報告します。修理は、表面に付着した汚れや過去の修理痕を筆を使ってアルコール・精製水で洗浄しながら、土器を解体し、強化処理（アクリル樹脂 パラロイドB72）を施したのちに、土器を組み立てしました。土器の隙間はエポキシ樹脂（バイサム）で充填し、充填部分はアクリル樹脂やアクリル絵の具・岩絵の具で彩色をしました。

修理が完了した資料は、今後、館内外での展示に活用していきます。

（学芸課 杉野森淳子）



深鉢形土器 2（高さ38.2cm口径29.8cm）
修理前



深鉢形土器 2 修理後



深鉢形土器 2 解体時



深鉢形土器 6 (高さ32.7cm口径22.4cm)
修理前



深鉢形土器 6 修理後



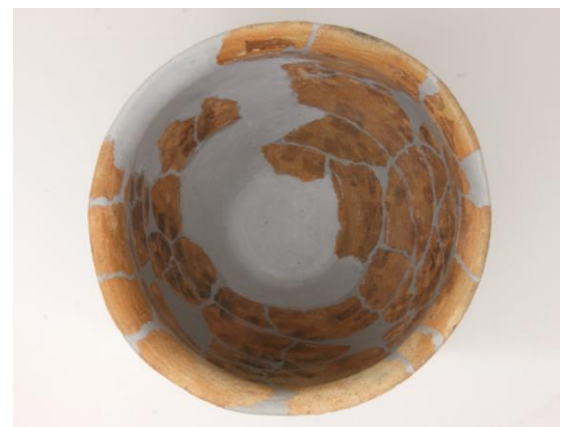
深鉢形土器 7 (高さ33cm口径24.4cm)
修理前



深鉢形土器 7 修理後



深鉢形土器 7 修理前 (内面)
ガムテープとガムテープ痕跡が多数ある。



深鉢形土器 7 再組み立て充填後 (内面)
ガムテープは取れたが、テープ痕は一部残る。